



人らしき人

川西中学校
令和2年度
学校だより
6月10日号

文責：校長 船木智幸

人らしき人を目指して

6月7日（日）に2か月遅れて、ようやく入学式を行うことができました。1年生136名と、その保護者の皆様、本校の教職員がそろって、晴れの日をお祝いすることができました。



式辞の中で、保護者の皆様には新型コロナウイルス感染症による教育課程の変更へのご理解とご協力に対して感謝を申し上げました。

新入生には、みなさんの先輩であり、直木賞作家で劇作家の井上ひさしさんが作詞してくださった校歌にあるとおり、「空よりも広き心」を、「花よりも清き心」を、「山よりも強き心」を育て、「人らしき人」となれるよう、しっかり

勉強し、3年後に大きく成長して卒業していく姿に期待したいと述べました。

続いて、在校生を代表して3年の菊地悠さんが歓迎の言葉を述べました。

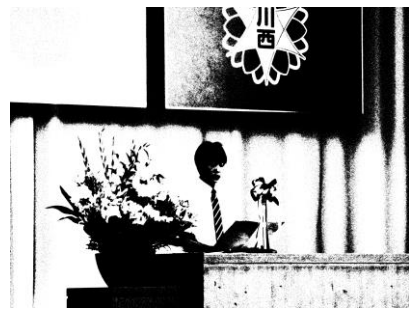


若い青葉が広がり、生命のあふれる力に、夏の訪れを感じる季節となりました。大変遅くなってしまいましたが、改めて、お祝いの言葉を伝えさせてください。ご入学、本当におめでとうございます。日を重ねれば重ねるほど、この中学校生活にも慣れ、生き生きとしてくる皆さんの姿を見て、二年前の自分を重ね、とても微笑ましく思っています。今年は、感染症の影響で学年ごとの登校からはじまり、マスクをしていて新たな友達の顔もよく見れず、戸惑

うことも多かったことと思います。また、部活動見学などもできず、少しもの足りなく思っている人もいないのでしょうか。私達も、みなさんとの交流を楽しみにしていたので、今はなんとも言えない気持ちがあります。ですが、下の階から響いてくる元気な挨拶や、熱心に掃除をする姿、先生方から聞く真剣な授業の様子などから、みなさんとどんな素敵な思い出が創れるのだろうと、わくわくするのです。みなさんには、そう確信させるエネルギーを感じます。私達が交流できる時間は、例年と比べると少なくなるでしょうが、一回一回の活動を大切に、思い出に残る一年にできたらと思います。さて、入学のしおりにも載せていただきましたが、今年は川西中学校の開校十年目という、大事な大事な節目です。これから何が起こるのか、誰にも分かりません。そんな今、私達に必要なのは、『できることから、こつこつと』です。つまり、目の前にあることを大切にこなしていくということです。一日一日の予習復習や、集中して授業に取り組む姿勢、時間を守った行動、学校内外での挨拶、誠意のこもった清掃など…。私達にできることは、たくさんあります。それらに、丁寧に一つずつ取り組み、少しずつでも、前進していきましょう。これからも長く続いていく学校生活の中で、みなさんが、仲良く楽しく過ごすためのアドバイスを贈らせてください。それは、『相手の気持ちを尊重して、お互いを高め合う』ということです。何をやるにも、自分一人ではできません。自分の思いこみ、思いつきだけで進むのではなく、ちょっと立ち止まって、相手の思いをじっくり考えてみましょう。その考えを大切に、協力して取り組めるといいですね。そうして、共に成長して欲しいと思います。全校生395名のみんなで力を合わせて、十年目の川西中学校に、新たな伝統を築いていきましょう。みなさんの中学

校生活が煌めきの日々となることを期待し、歓迎の挨拶と致します。この状況に負けず、頑張っていきましょう。

最後に新入生誓いの言葉を舟山眞弘くんが述べました。



清々しい初夏を迎え、緊急事態宣言もようやく解除され、晴れて僕たち新入生136名は本日、入学式を迎えることができました。僕たちは、4月19日に入学を許可されたものの、その後、約2か月間の自粛生活を余儀なくされ、これから始まる中学校生活への期待をしながら、担任の先生や仲間との新たな出会いを心待ちにしていました。5月11日、初めて中学校に登校しました。緊張と不安でいっぱいでした。今までとは違う環境の中で、僕たちは、

幅広い知識と技術を身につけたり、部活動に打ち込んだりして新しいことに挑戦していくからです。その中には、苦しくて辛いこともあるかもしれませんが、僕たちには、大きな夢があります。それを達成するためなら、苦しいことや辛いことがあっても将来の自分の夢に近づくために、それを乗り越える努力を惜しんではならないと思います。また、僕たちには困難を乗り越える手助けをしてくださる先生方や先輩方がいます。支え合える136人の仲間もいます。そんな心強い味方と共に考えたり、悩んだり、喜びを分かち合えることは、本当に素晴らしいことだと思います。もし、僕たちが悩んだり困ったりしたときには、先生方、先輩方、どうか力を貸してください。もちろん、僕たちも、大切な仲間のため、できる限り力を貸し、助け合っていくつもりです。そして、136人全員が、安心して楽しく学校生活を送れるように、和気あいあいとした良い人間関係を作っていきたいと思います。また、2か月遅れではありますが、入学式を迎えることができ、校長先生をはじめ、先生方、先輩方に感謝しています。そして、待ちに待った制服姿を両親や家族に見せることができ、本当に嬉しく思います。最後になりましたが、僕たちは、どんなことにも好奇心をもって全力で取り組み、つらいことがあっても逃げずに正面からぶつかっていき、自分の周りにいる人たちに思いやりをもって接することを常に念頭に置いて、学校生活を送ることを誓い、新入生代表の言葉と致します。

